

病虫害発生予察注意報（第1号）

令和5年8月10日

神奈川県農業技術センター

病虫害名：オオタバコガ

作物名：野菜類、花き類

1 発生地域：県東部

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- 当所病虫害防除部が三浦市初声町和田に設置しているフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、7月第5半旬に急増し、7月第5半旬から8月第1半旬までの合計が643.4頭と平年（153.6頭）の約4.2倍となっており（図1）、1996年以来最も多い。
- 当所病虫害防除部が横浜市神奈川区羽沢町に設置しているフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、7月第6半旬に急増し、7月第6半旬から8月第1半旬までの合計が215.0頭と平年（46.8頭）の約4.6倍となっており（図2）、過去12年間で最も多い。
- 気象庁が8月3日に発表した向こう1ヶ月の気象予報では、気温は平年より高いと予想され、次世代幼虫の発生に好適な条件が続くと予想される。

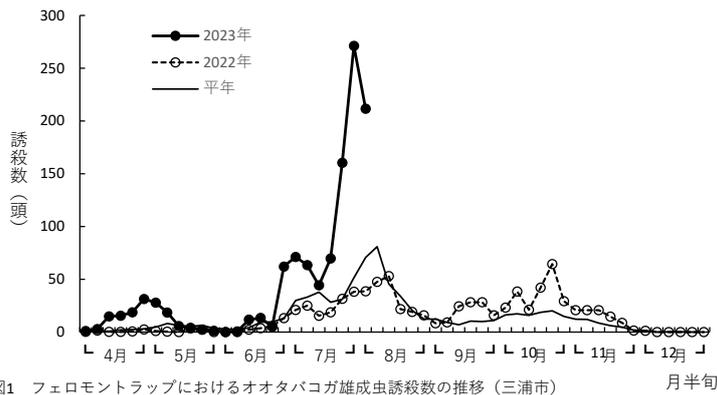


図1 フェロモントラップにおけるオオタバコガ雄成虫誘殺数の推移（三浦市）

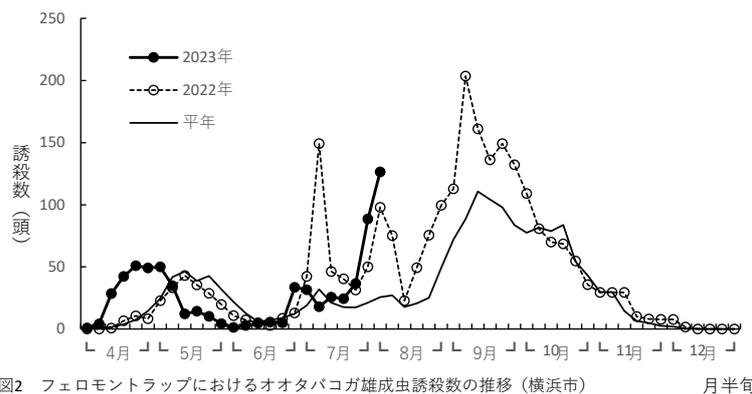


図2 フェロモントラップにおけるオオタバコガ雄成虫誘殺数の推移（横浜市）

4 被害と生態

広食性で多くの作物を加害する。若齢幼虫は新葉や蕾、花、幼果に潜り食害するが、肥大した果実には潜らない。中齢以降の幼虫は、花、果実、葉の各部を食害し、ナスやトマト、ピーマン等では果実に穴をあけて内部を食害する。幼虫は共食いが激しいので、新葉内か大きな果実でも寄生は1頭の場合が多い。新しい食害や虫糞を確認した場合、その周辺に幼虫がいる可能性が高い。

5 防除対策

(1) 幼虫は、花や果実等に潜り食害し、薬剤がかかりにくい。また、齢期が進むほど薬剤の効果が低下するため、果実や花をよく観察し、若齢期を中心に薬剤防除を行う。各種作物のオオタバコガに適用のある防除薬剤例を表に示した。

なお、農薬使用の際は必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守する。

表 防除薬剤例 (2023年8月2日現在の農薬登録情報に基づく)

薬剤名	IRAC コード	農薬登録の有無					
		ナス	ピーマン	トマト	ミニ トマト	キャベツ	花き類・観 葉植物
スピノエース顆粒水和剤	5	○	○	○	○		
ディアナSC	5	○	○	○	○	○	○
アニキ乳剤	6	○	○	○	○	○	
アフーム乳剤	6	○	○	○	○		○
アフームエクセラ顆粒水和剤	6+15	○	○	○	○		
コテツフロアブル	13	○	○	○	○	○	
アタブロン乳剤	15	○	○	○	○		
カウンター乳剤	15	○	○	○	○		
カスケード乳剤	15	○	○	○	○	○	
マッチ乳剤	15	○	○	○	○		
ファルコンフロアブル	18	○	○	○		○	
マトリックフロアブル	18	○	○	○	○		
トルネードエースDF	22A	○	○	○			
アクセルフロアブル	22B	○	○	○	○	○	○
フェニックス顆粒水和剤	28	○	○	○	○	○	○
プレバソンフロアブル5	28	○	○	○	○	○	
プレオフロアブル	UN	○	○*	○	○	○	○
BT剤	11A	野菜類でオオタバコガに適用があるものは、エコマスターBT、エスマルクDF、ゼンターリ顆粒水和剤（キャベツ、はくさいを除く）、チューンアップ顆粒水和剤、トアローフロアブルCT、フローバックDF等					エコマスターBT、エスマルクDF、フローバックDF等

*タバコガ類に適用あり。

(2) 抵抗性を発達させないために、同じ系統の薬剤は連用せず、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

(3) 施設栽培では開口部を防虫ネットで覆い、成虫の侵入を防止する。

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>